

公益社団法人 **日本作曲家協会会報**

No.222

<http://www.jacompa.or.jp>

JAPAN COMPOSER'S ASSOCIATION

ソングコンテストグランプリ・2025**グランプリ・準グランプリ決定!**

日本作曲家協会・日本作詩家協会共同企画「ソングコンテストグランプリ・2025」は今年も広く全国に作詩・作曲作品を募集した。

松原のぶえ(徳間ジャパンコミュニケーションズ)を対象歌手として、1月15日(水)から3月14日(金)にかけて詩の募集をしたところ全国から応募総数816編の応募があった。

そして3月27日に、作曲家協会会議室において、作詩家協会理事と作曲家協会ソングコンテスト委員会で、選考会が行われた。第1次選考で147作品、第2次選考で41作品が決まり、ソングコンテスト委員会、徳間ジャパン制作サイドとの最終選考の結果「通天閣の空の下」(氏原一郎)「命ぎりぎり日本海」(水越 桂)の2作品が最優秀作詩賞に決定した。

この2編の詩を課題詩として4月21日(月)から6月20日(金)にかけて、当協会会員のみならず、広く一般からも作曲募集を行ったところ、会員196作品、一般174作品、応募総数370作品の応募があった。

今年は安藤篤人氏(東京新聞)、飯尾史彦氏(スポーツニッポン)、関 俊志氏(第一興商)の3氏に選考委員を依頼。6月26日、27日の両日、当協会会議室において1次選考が行われた後、最終選考で徳間ジャパンコミュニケーションズ、松原のぶえ所属事務所、そして当協会ソングコンテスト委員会の厳正な選考の結果「通天閣の空の下」は松元勝兵氏(一般)が「命ぎりぎり日本海」は五代香蘭氏(協会員)が最優秀作曲賞を獲得した。

そして7月24日(木)18時より乃木坂ソニースタジオにおいてレコーディングが行われた。レコーディング終了後、徳間ジャパンコミュニケーションズにおける編成会議の結果「通天閣の空の下」がグランプリに決定。グランプリ曲と準グランプリに決まった「命ぎりぎり日本海」の2曲は10月1日に松原のぶえの新曲としてCD発売される。



スタジオ録音風景

★グランプリ**「通天閣の空の下」** 作曲:松元勝兵(一般)/作詩:氏原一郎/編曲:猪股義周**★準グランプリ****「命ぎりぎり日本海」** 作曲:五代香蘭(協会員)/作詩:水越 桂/編曲:猪股義周**★優秀作曲賞**

「命ぎりぎり日本海」 石田光輝、大村友希(協会員)、赤司一博(一般)

「通天閣の空の下」 石田光輝、岸田妙子(協会員)、尾崎正彰(一般)

ソングコンテストグランプリ・2025

受賞に寄せて

◆グランプリを受賞して 松元勝兵

この度は栄誉ある賞を賜り誠にありがとうございます。関係者の皆様には心より御礼申し上げます。このようなチャンスの扉を開いてくださった協会の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。10代の頃より曲作りに魅力を感じ今もその熱は覚めないままです。レコーディングでは一丸となって作品を完成させていく皆様の姿勢に感動しながら立ち会わせて頂きました。「通天閣の空の下」というタイトルに懐かしさを感じ、そこで奮闘する夫婦の姿が見事に描かれた詩に大阪の風景と夫婦のホロリとした心情をメロディーに込めました。そこに素敵な編曲により一本の映画のような仕上がりになりました。さらに松原のぶえさんの歌声と表現力で一層楽曲が輝き大満足です。本当にありがとうございました。

◆準グランプリを受賞して 五代香蘭

この度は素晴らしい賞をいただき、たいへんうれしく光栄に思っております。念願の受賞によりやく手が届き、感無量です。

「命ぎりぎり日本海」は、極寒の日本海で命がけで漁にのぞむ夫を思う女房の心情を表現した作品ですが、猪股義周先生編曲のドラマチックで美しいオケをバックに、松原のぶえさんが主人公の心情を見事に表現してくださり、感動いたしました。素晴らしい作品に仕上げてください、感謝の気持ちでいっぱいです。

この曲が多くの皆様に聴かれ、末長く愛されていくことを願っています。

このコンテストに関わってくださったすべての皆様に心より感謝を申し上げますとともに、これを機にいつそ曲づくりに精進してまいりたいと思っております。

ソングコンテスト選考にあたって

◆田中 孝(株徳間ジャパンコミュニケーションズ、松原のぶえ担当ディレクター)

この度は松原のぶえが歌唱する「ソングコンテストグランプリ・2025」に沢山のご応募をいただき、誠にありがとうございました。日本作曲家協会、日本作詩家協会をはじめ関係各位の先生方と作品を選考させていただき、私にとっても大変貴重な経験をさせていただきました。

グランプリに選ばれた「通天閣の空の下」、準グランプリに選ばれた「命ぎりぎり日本海」とも、とても素敵な作品で、その世界観を編曲の猪股義周先生に最大限引き出していただきました。その結果どちらも素晴らしい仕上がりとなり、グランプリの選考に大変苦労いたしました。協議の末「通天閣の空の下」をグランプリ、「命ぎりぎり日本海」を準グランプリとさせていただきました。

お陰様で一人でも多くの方々に、聞いていただきたい、唄っていただきたい、届けたい、松原のぶえの新曲が誕生しました。

ありがとうございました！

スタジオにて



「通天閣の空の下」
左から 松元勝兵、松原のぶえ、氏原一郎



「命ぎりぎり日本海」
左から 五代香蘭、松原のぶえ、水越 桂

ソングコンテストグランプリ・2025

選考にあたって寸評

◆安藤篤人(東京新聞)

応募作に耳を澄ますと、なぜこの曲調になったのか、選ぶ側は作者の意図を探る作業に自然と向き合うことになる。一方、作曲家側は歌詩先行の作曲にあたっては、当然ながら歌詩を読み解く作業に向き合わざるを得なくなったはずだ。

「通天閣の空の下」は、過去にいろいろあった夫婦の営みと大阪のシンボルである通天閣とを絡めた愛情物語。ポイントは泣き笑いありの「大阪もの」という点を押さえたかどうか。また、「命ぎりぎり日本海」は、日本海を舞台に命がけの漁に出かける男への想いをつづっている。タイトルにある「命ぎりぎり」をどう曲調に表わせたか。

両タイトルとも応募作はさまざまなアプローチの仕方を感じさせた。その中で、どれだけ歌詩に近づいたか。その差が当落を分けた。

◆飯尾史彦(スポーツニッポン)

「通天閣の空の下」は苦勞承知で夫に添い遂げている浪花の女房目線の歌。何が起きようとも、どこまでも前向きに乗り越えていこうとする「ポジティブ変換」な姿からは「コテコテ」と言ってもいいほどの明るい曲が似合った。テンポのいい曲も相性が良く、間延びしない曲作りが求められたと言えそうだ。荒々しい日本海に漁師の男が命がけで立ち向かう「命ぎりぎり日本海」は、歌い出しから緊迫感や勢いがほしいというのを選考の大きなポイントとした。実際に突き抜けるような歌い出しの曲が多く、大荒れの日本海の情景が思い浮かんだ。

◆関 俊志(第一興商)

まず、ひとつの詩に、これだけたくさんの曲・メロディーが生まれたことに感動しました。詩の解釈や理解によって、表現方法も様々ですが、松原のぶえさんが歌うことを想像できるかどうかをひとつの判断基準にしました。

2詩とも女性を主人公にした詩でしたが、「関西の明るく、ほんわかするような女性像」と、「日本海に暮らす芯の強い女性像」と、それぞれタイプの違う女性像がそれぞれ描かれており、どの作品も、いろんな角度から、またいろんなアプローチの仕方があり、素晴らしかったと思います。作品の中には、他のアーティストなら良かったのと思える作品もあり、曲・メロディーの大切さを改めて感じました。

選考風景



優秀作品賞(協会員)



石田光輝



大村友希



岸田妙子

(一般)
赤司一博
尾崎正彰

「日本作曲家協会音楽祭・2025」出演歌手

10月6日(月)東京北区・北とびあ「さくらホール」において開催される「日本作曲家協会音楽祭2025」の出演者が決定。今回も「日本作曲家協会音楽祭・奨励賞」「日本作曲家協会音楽祭・3賞」そして今回新たに設けられた、多くの人々の感動を生んだ名曲の歌唱により今も広く愛される歌手に贈られる「日本作曲家協会音楽祭アワード～この人この歌～」を授与しステージを飾っていただきます。併せて、ソングコンテストグランプリ曲の歌唱など盛り沢山の内容となります。

日本作曲家協会音楽祭アワード ～この人この歌～



伊東ゆかり
「小指の思い出」

鈴木 淳 作曲/有馬三恵子 作詩/森岡賢一郎 編曲



松崎しげる
「愛のメモリー」

馬飼野康二 作曲、編曲/たかたかし 作詩

ベストカラオケ賞

「北の恋情歌」

弦 哲也 作曲/たきのえいじ 作詩/猪股義周 編曲



川野夏美
(クラウンレコード)

ベストパフォーマンス賞

「Fun! Fun! Fun!」

後藤康二(ck510)作曲編曲/
後藤康二(ck510)S-H-Y 作詩



新浜レオン
(海峡レコード)

ロングヒット賞

「部屋とYシャツと私」

平松愛理 作曲、作詩/清水信之 編曲



平松愛理
(ポニーキャニオン)

日本作曲家協会音楽祭・奨励賞



青山 新

(テイチクエンタテインメント)

「身勝手な女」

作曲:水森英夫
作詩:麻こよみ
編曲:伊戸のりお



徳永ゆうき

(ユニバーサルミュージック)

「明日への翼」

作曲:岡 千秋
作詩:原文彦
編曲:若草 恵



風輪

(徳間ジャパンコミュニケーションズ)

「天使と悪魔の愛し方」

作曲:杉本真人
作詩:田久保真見
編曲:矢野立美



LAST FIRST

(日本コロムビア)

「DO IT! ~夢恋人~」

作曲:大隅知宇
作詩:大蔵
編曲:大隅知宇

ソングコンテストグランプリ・2025 表彰・発表

「通天閣の空の下」

作曲:松元勝兵
作詩:氏原一郎
編曲:猪股義周

松原のぶえ

(徳間ジャパンコミュニケーションズ)



公益社団法人 日本作曲家協会

第3回 オリソンマーケット&セミナー ~隠れた逸材を探す~

協会員自身が作曲された商品化されていない未発表作品(歌詩付き:作詩、歌唱は非会員でも可)を以下に掲げる方法にて発表して頂き、各レコード会社のディレクターから率直にアドバイス等をいただきます。但し、順位を決めたりCD発売を約束するものではありませんが、レコード会社の目にとまり、何かチャンスがあるかもしれません。どうぞ奮ってご応募下さい。

また、同時に各社ディレクターを交え、未来の作家達のために研究会、セミナーを開催いたします。

作品発表の応援視聴や一般の方々も入場可能です。ぜひご参加ください。

(企画:社会福祉委員会)

募集期間

2025年10月1日(水)~11月28日(金)必着

開催日時

2026年5月22日(金)13:00予定

開催場所

けやきホール(東京都渋谷区上原3-6-12)

※ 一般視聴応援、入場無料(状況により入場制限あり)

※ 後日、協会ホームページでもお知らせいたします。